

平成27・28年度研究主題

未来を拓く国語教育の創造

—思考力・表現力・探究力が育つ言語活動の充実—

話すこと・聞くこと部会 研究主題

自己充実を目指し主体的・協働的に話し合う活動を通して、思考力・表現力及び探究力を育てる

1 研究主題について

都小国研全体テーマ「未来を拓く国語教育の創造」とは、変化の激しいこれからの社会において、自らのよさを発揮しながらたくましく生きていくために必要となる言葉の力を一人一人の児童にしっかりとつける国語科の使命そのものを表現したものであると考える。1時間1時間の授業で行う言語活動で主体的・協働的に学ぶ「探究力」と、言葉を通して思考し、よりよいものを求めて言葉で表現する「思考力・表現力」を培うことが未来を拓く豊かな言語生活者を育むことに繋がると考えた。

2 話すこと・聞くこと部会 研究主題について

話し手の考えを聞き手に伝えると、聞き手はその意図や意味を把握し、自分の考えや他の考えと関係づけフィードバックする。そのやりとりにより課題解決や意味生成に向かう話し合いが成立する。そこでは、思考力と表現力が一体のものとして働いている。話すこと・聞くこと部会では「話すこと・聞くこと」における「思考力・表現力」は一体であると考え。そしてその内容は、自分の考えを適切に話し言葉で表現したり、自他の考えを比べ、つなげ、関係づけ、まとめるために、分からないことを聞き返したり、共通点や相違点を考え指摘したり、理由をつけて話したり、目的に照らしながら互いに納得するよりよい考えを出し合ったりすることであると考え。

また、学習において児童自身が意味や価値を実感しながら学び方を身につけ、主体的に学ぶ力としての「探究力」こそが、「未来を拓く」原動力である。話すこと・聞くこと部会では、児童の実生活にとって話し合う必然性のある話題を学習材とし、話し手と聞き手が自ら求めて主体的・協働的に課題解決に向かう「話し合い」を中心に実践を重ね、研究を進めてきた。

本部会が目指す「話し合い」とは、異なる考えを尊重しながら他者と協働して、よりよいものや新しい考えを創造しようとする協働的な学習活動である。そこで、「自己充実を目指し主体的・協働的に話し合う活動を通して、思考力・表現力及び探究力を育てる」を部会テーマとして、未来を拓く国語教育の創造を目指し、研究を進めていこうと考えた。

3 研究内容

(1) 課題意識を大切に単元の開発と学習過程の工夫

- ① 話題設定の工夫
- ② 単元の流れの工夫

(2) 付けたい力を明確にした指導の工夫

- ① 付けた位置からの明確化
- ② 指導の手だて

(3) 評価の工夫

- ① 評価補助簿の工夫
- ② 自己評価・相互評価
- ③ 指導と評価の一体化